

原木栽培椎茸を通じて旨み文化の継承と創造をし続けています

株式会社 武久

〒833-0005 福岡県筑後市長浜1529
TEL 0942-53-2626 HP <https://www.takehisa-shiitake.com>

業 種 食料品卸売業
従業員数 16名
資 本 金 1,000万円

世界に誇る和食文化を守りながら新たな価値を創造

創業1935年の乾しいたけの販売企業。品質本位に自然栽培の「九州産原木しいたけ」を販売。小売店舗を運営し、しいたけを中心とする料理を提供。店舗ではランチの他、しいたけ狩り体験も可能。店舗スタッフは自社店舗や百貨店などで「だし教室」「しいたけ料理教室」を開催し、椎茸と日本のだし文化の普及活動も行う。



事業内容

改善成果のポイント

訪問支援回数 | 13回 (支援期間: 13カ月)

- 受け入れから商品までを一元管理し製造原価を可視化、粗利改善
- 原料管理の改善で、受入れ、棚卸し業務時間を大幅に短縮



Q どんな困りごと(課題)がありましたか？

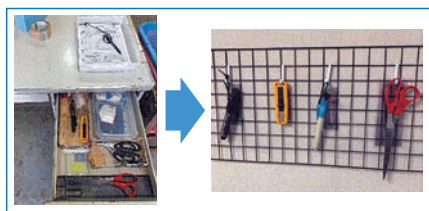
昨年の1期目の支援で、作業現場(選別・袋詰め・在庫保管場所)の「5S」*1*「5定」*2を実施し効果が得られ、維持・改善が進行中です。その中で、「在庫管理」の課題を見つけました。安全在庫の基準が分からず、過去10年分の決算書では数字に整合性がありませんでした。弊社の基準値を見つけるために必要な過去のデータもない状態でした。「在庫管理」における可視化をしなければ、無駄に買い、無駄に使う課題の解決にならないことが、1期目の支援の中で分かりました。

在庫管理について、2つの課題を解決するため、2期目の支援を申込みました。

- ① 経験値や感覚に頼る仕入: 乾燥椎茸は市場の入札による仕入で、過去データも仕入基準も無く、経験値に頼り感覚で仕入っていました。
- ② 適正な原価が不明: 在庫管理および生産管理がデータ化されてなく、仕入れた乾燥椎茸の選別時および小袋詰め時の原料単価は平均単価しかなく、人件費も平均単価しかありませんでした。

(*1) 5S: 整理・整頓・清掃・清潔・躰
(*2) 5定: 定置・定量・定時・定品・定高

課題 1 2 4



1期目の5S 5定活動



原料しいたけ倉庫

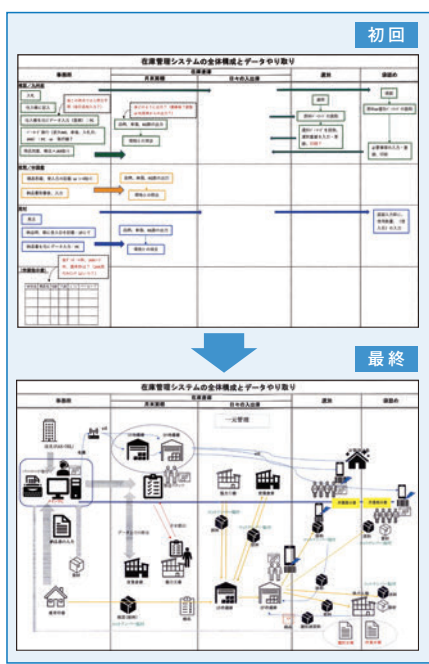
Q 改善の取組み内容を教えてください

在庫管理を改善するためのシステム構築に向けて、以下を検討しました。

1. 現状の会計システムを含むシステム全体の構成(特に業績管理に必要なデータを明確化)
2. 将来の拡張性を考慮したクラウド対応のシステム
3. 在庫管理業務を含む全社の業務フローの現状分析、改善案
4. 仕入、労務費等、在庫金額に影響する項目

また、在庫管理の業務フローの分析から、安易なシステム導入によって、既存の販売管理システムと在庫管理システムとが分断し、データを2重入力していることもわかり、データのシームレス化を図ることも検討項目として追加しました。企業規模、財務体力、情報リテラシー、データをベースにした全体構成と拡張性を考慮した上、予算規模で対応可能なシステムを検討し、システム構築期間を5月以内の目標で進めました。

他に、原料受入れ時、製造工程での選別時および製造時の原料の管理として、ロケーション管理とバーコードリーダーの導入も進めました。



繰返し修正によるシステム全体構成の検討

Q 取組んで良かった点を教えてください

メインの
効果
(改善点)

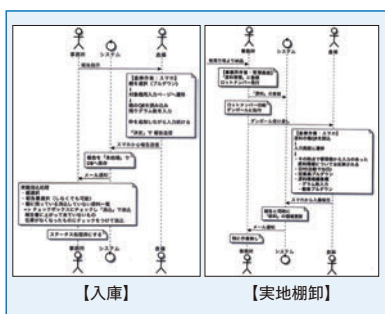
受け入れから商品までを一元管理できるシステムが構築できました。これにより、ロット番号別に、原料の単価、重量、製造時の人件費、その他資材をデータに登録することで、以前は見えなかった商品別、製造日別の1個あたりの製造原価が可視化できるようになり、毎月、商品別の粗利額が見えるようになりました。結果、上位15アイテム中、5アイテムが8%の赤字であることがわかり、これらの商品に対して値上げ、商品切替え、終売といった対策を実施し粗利率が5%改善しました。

副次効果

ロケーション管理およびバーコードリーダーの導入により、棚卸時間が10時間から1時間に短縮できた上、製造スタッフでも作業ができるようになりました。他、棚番を決めて管理することで、入出庫時間が30分~40分から約5分に短縮できました。

今後の目標

- 今回、デジタイゼーションからデジタルライゼーションへ移行できました。今後は以下を実施予定です。
- ・工程の見直しおよび作業導線の見直し
 - ・仕入れデータ、製造原価を見直し、事業戦略の検討
 - ・仕入れ原料、原料選別工程の人件費等の課題解決



整理した業務フロー例



ロケーション管理による棚卸改善

企業様の声

システム導入後、正確な原価の算出による粗利率の可視化、またリアルタイムでの在庫確認ができたことで計画的な仕入れが可能となり、結果キャッシュフローの改善に繋がることができました。1期目は5S改善が目的でしたが、支援の中で会社の課題が見え、2期目でシステムを導入したことにより改善点が具体的に見え、会社として正しい戦略を立て自信をもって進めることができている。



株式会社武久 マネージャー
武久 景子 様

生産性アドバイザーから一言

従来から問題点は意識していたが、何が課題が明らかでなかったのが、業務フローを記載して頂きました。これを基にヒントを提示し、お互いに協議しながらより良いものへとアイデアを出しながら実施しました。時には厳しい指摘をしましたが、当方の真意を理解し企業が真剣に努力されました。その結果、経費をかけずに今後の活用、拡張へと結びつくシステムを完成することができました。



生産性アドバイザー
中村 治